

指標の達成度を基にした定量的な評価

市民意識調査を基にした定性的な評価

基本目標	平均点	評価	(参考) 目標値を80%以上 達成した指標の割合	市民意識調査を基にした定性的な評価		
				市民の進捗実感 (2018年度) (単純平均)	市民の進捗実感 (2024年度) (単純平均)	変化
基本目標 1 良好な生活機能が確保されている都市	3.7	B (取組がやや遅れた)	76.1%	34.0%	37.4%	+3.4
基本目標 2 良好な地域社会が形成されている都市	3.8	B (取組がやや遅れた)	77.8%	30.0%	31.0%	+1.0
基本目標 3 良好な就業環境が確保されている都市	3.9	B (取組がやや遅れた)	72.4%	25.4%	22.3%	▲3.1
基本目標 4 魅力ある価値が創出されている都市	4.1	A (概ね順調に取組が進んだ)	78.6%	39.7%	42.2%	+2.5
基本目標 5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市	4.4	A (概ね順調に取組が進んだ)	91.7%	22.8%	23.8%	+1.0
全体	4.0	A (概ね順調に取組が進んだ)	77.9%	30.8%	32.1%	+1.3

【定性的な評価の基準】 S：非常に順調に取組が進んだ A：概ね順調に取組が進んだ B：取組がやや遅れた C：取組が遅れた

【参考】 「重点項目」 単位の市民意識調査の結果（基本目標 1）

「重点項目」 単位での市民の進捗実感の変化

基本目標	評価	市民の 進捗実感 (2018年度) (単純平均)	市民の 進捗実感 (2024年度) (単純平均)	変化	重点項目	R7 内部 評価	市民の 進捗実感 (2018年度)	市民の 進捗実感 (2024年度)	変化
基本目標 1 良好な生活 機能が確保 されている 都市	B (3.7)	34.0%	37.4%	+3.4	1 - 1 子育て支援の充実	b (3.8)	35.2%	45.0%	+9.8
					1 - 2 医療・福祉の充実	b (3.5)	30.2%	35.1%	+4.9
					1 - 3 居住環境の充実	b (3.6)	34.5%	33.5%	▲1.0
					1 - 4 生活基盤の充実	b (3.8)	35.9%	35.9%	—

【参考】 「重点項目」 単位の市民意識調査の結果（基本目標 2）

「重点項目」 単位での市民の進捗実感の変化

基本目標	評価	市民の 進捗実感 (2018年度) (単純平均)	市民の 進捗実感 (2024年度) (単純平均)	変化	重点項目	R7 内部 評価	市民の 進捗実感 (2018年度)	市民の 進捗実感 (2024年度)	変化
基本目標 2 良好な地域 社会が形成 されている 都市	B (3.8)	30.0%	31.0%	+1.0	2-1 みやざきっ子の育 成	a (4.0)	34.7%	35.7%	+1.0
					2-2 地域力の向上	b (3.9)	29.5%	30.1%	+0.6
					2-3 共生社会の確立	b (3.7)	25.8%	27.2%	+1.4

【参考】 「重点項目」 単位の市民意識調査の結果（基本目標 3～5）

「重点項目」 単位での市民の進捗実感の変化

基本目標	評価	市民の進捗実感 (2018年度) (単純平均)	市民の進捗実感 (2024年度) (単純平均)	変化	重点項目	R7 内部 評価	市民の 進捗実感 (2018年度)	市民の 進捗実感 (2024年度)	変化
基本目標 3 良好な就業環境が確保されている都市	B (3.9)	25.4%	22.3%	▲3.1	3-1 人財の育成	b (3.1)	23.4%	22.7%	▲0.7
					3-2 雇用の場の創出	a (4.4)	27.4%	21.8%	▲5.6
基本目標 4 魅力ある価値が創出されている都市	A (4.1)	39.7%	42.2%	+2.5	4-1 ブランド力の向上	a (4.1)	39.7%	42.2%	+2.5
基本目標 5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市	A (4.4)	22.8%	23.8%	+1.0	5-1 都市機能の充実	a (4.4)	22.8%	23.8%	+1.0

■ 総括

- 「基本目標」単位で指標の達成度を評価（以下、「定量的な評価」という。）した結果、「A評価」が2項目、「B評価」が3項目となり、計画全体としての評価は「A評価」となった。
- 定量的な評価では、第五次宮崎市総合計画は、全体として概ね順調に取組が進んだと評価できるものの、
「B評価」となった「基本目標」も3項目存在するため、引き続き、第六次宮崎市総合計画で設定している関連する指標の目標達成に向け取組を推進していく。
- また、「基本目標」単位で、計画開始年度（2018年度）と最終年度（2024年度）における市民意識調査の結果を比較（以下、「定性的な評価」という。）した結果、5項目中4項目は向上し、計画全体としても向上している傾向にある。
- そのため、定性的な評価からも、概ね順調に取組が進んだと評価できる。
- しかしながら、各基本目標における定量的な評価と定性的な評価の結果は必ずしも一致していない。

■ 総括

- 「基本目標 1」及び「基本目標 2」の定量的な評価は「B 評価」だが、定性的な評価は向上傾向にある。
- 引き続き、第六次宮崎市総合計画で設定している関連する指標の目標達成に向け取組を推進していく。
- 逆に、「基本目標 5」の定量的な評価は「A 評価」であり、平均点も最も高い4.4点であるが、定性的な評価は他の基本目標を大きく上回るものではないため、指標の目標値設定で低かったものがあると推察される。
- なお、「基本目標 3」の定量的な評価は「B 評価」で、定性的な評価も低下傾向にある。
- その中の「重点項目」単位で見た場合も、「重点項目 3-1 人財の育成」及び「重点項目 3-2 雇用の場の創出」ともに定性的な評価は低下している。
- そのため、今後、第六次宮崎市総合計画においては、関連する施策である「重要施策 1 産業・雇用の創出とイノベーションの推進」や「重要施策 2 人材の確保・育成」の取組を着実に推進する。